



岡山後樂園



ごあいさつ

第19回全国生涯学習フェスティバル実行委員会
会長 岡山県知事

石井 正弘

「晴れの国 キラリ☆輝く まなびの輪」をキャッチフレーズに、平成19年11月2日から6日までの5日間にわたり、第19回全国生涯学習フェスティバル「まなびピア岡山2007」を岡山県総合グラウンドを主会場に、また、大会史上初めて全市町村を会場として開催いたしました。

秋篠宮同妃両殿下の御臨席を賜り開催した総合開会式をはじめ、各会場に県内外からあわせて約81万人もの方々に参加・来場いただき、成功裏に閉幕できましたことは大変喜ばしいことであり、岡山県民にとって大きな自信となりました。

このフェスティバルでは、本県が積極的に進めている生涯学習による「人づくり」「地域社会づくり」推進の大きなはずみとなることを期待して、岡山県らしさを随所に発揮し、約440もの多彩な事業を行いました。これらの事業を通じて、発表者や出演者には、日ごろの実践の成果を存分に発揮していただき、参加・来場者には、学ぶことの喜びや楽しさ、大切さを実感していただけたのではないかと考えております。

また、今回の「まなびピア岡山2007」の最大の特徴であります、27全市町村が参加し、県内一丸となって、各地域の特色を生かしたさまざまな事業を展開したことによりまして、本県の生涯学習の気運を一層高めることができたものと考えております。

フェスティバル開催を契機に、多くの皆様方が生涯学習への意欲をさらに高めていただきますとともに、生涯にわたって学習を続けていくことができますように、生涯学習施策をなお一層推進してまいりたいと存じます。また、この成果を平成22年開催予定の国民文化祭にしっかりとつなげてまいりたいと考えております。

このたび、事業の記録を報告書として取りまとめましたので、御一読いただき、今後の活動の参考にしていただければ幸いです。

最後に、本フェスティバルの開催に当たり、惜しみない御支援と御協力をいただきました多くの皆様方に、心から感謝申し上げます。